



個人授業 心臓ペースメーカー

適応判断から手術・術後の管理まで

永井良三 監修 杉山裕章／今井靖 執筆
定価 3990 円 (本体 3800 円＋税 5%)
医学書院
TEL.03-3817-5657

渡辺真理

財団法人心臓血管研究所付属病院
看護部管理室

心電図の理解は 不可欠だが、ハードルは 高い!?

「循環器」が苦手な理由に“心電図がよく分からないから”という看護師は多いのではないのでしょうか。ましてやペースメーカーとなると敬遠する人も少なくないでしょう。そもそも不整脈の専門用語自体が難しいこともあります。ところが、筆者の勤務先のような循環器専門病院の看護師採用面接時に、循環器を志望する理由や、何を学びたいかを聞くと大半は、“心電図を読めるようになりたいから”と口にします。つまり、心電図の理解は看護師にとって必要不可欠と理解しているものの、ハードルはかなり高いというのが現実です。

心電図を学習するなら何らかの参考書は必要でしょう。そこでお勧めするのが本書です。実際に不整脈、しかもペースメーカーといえは堅苦しく眠くなる本が多いなか、本書は今までにない形式をとっています。心電図の基礎からペースメーカーチェックまでをベテラン医師と若手医師の対話形式で書かれてあり、そのやりとりが実に面白く、“ここはどうなっているのだろう?”という読み手の疑問を若手医師がしてくれ、それにベテラン医師が答えるといった感じで進められています。最後まで眠くならず楽しく読めてしまいます。心電図の基本を理解するにはうってつけです。

いつの間にか心電図や ペースメーカーが楽しく なってしまう本

とにかく看護師は、いや私に限ってなのかもしれませんが、自分がどのように理解したかを相手にきちんと説明することが苦手です。プリセプターなどから、“新人指導で不整脈をどのように指導したらいいのか”“新人がどこまで理解しているのかわからない”といったことをよく耳にすることを考えると、これは私だけの不安ではないようです。しかし、この本にはペースメーカーを理解する際の思考回路やその習得過程が書かれているので、学習する新人にとってはどのように理解していけばよいのか、教える際には、どのように説明すればわかりやすいのかが見えてきます。

つまりペースメーカーを学びたい人にはもちろんですが、指導する人にもお勧めなのです。要点を押さえ、難しいところも簡単にサクッと理解するためのアドバイスや、かゆいところに手が届く質問にもわかりやすい答えが書かれており、新人からプリセプターまで、みんなで参考にしたい1冊といえるでしょう。

ペースメーカー機能は複雑で、心電図波形だけでは理解しがたいことが現場ではよくありますが、基本事項の理解が目的の本書で、考え方のプロセスを理解することによって、苦手で読み始めた方も読み終えたときには、ペースメーカー、いや心電図は楽しいかも、と思わせてくれるでしょう。